

学びを形に、伊勢を伝える

プロジェクトPR文

伊勢市役所職員の方と連携し、
大学生の視点で取材・撮影・記事制作を行うプロジェクトです。
地域の魅力や、市民に身近な情報を市民に分かりやすく伝え、
伊勢市の活性化に貢献できていると思います。
取材や制作を通して得た学びや気づきを記事に反映させ、
より魅力的で親しみやすい広報を目指しています。

1月号では手話について学び、
実際に体験させていただきました。
目を見て話すことや表情で意味が変わることを
体験する中でとても温かい交流だと実感しました。
挨拶や指文字を知るだけでも
コミュニケーションの幅が広がると感じ、
多くの人に手話を知ってもらいたいという思いで
取材や記事制作にあたりました。

1月18号



2月18号



2月号では伊勢志摩定住自立圏域
8市町合同特集を担当しました。
各市町を調査する中で、これまで知らなかった魅力や
地域ごとの特色に触れることができました。
また、美しい自然や文化を守りながら、
その良さをより多くの人に伝えていきたいという思いで
この記事を作成しました。

活動を通して学んだこと

実際の活動を通して、「誰に」「何を」「どのように」
伝えるかを意識することの重要性を強く感じた。
自分が伝えたいことだけを書くのではなく、
市民や読者が何を知りたいのかを考えながら取材を行うことは
想像以上に難しく、広報の奥深さを学んだ。
また、この活動を通して、実践的な広報の知識だけでなく、
メンバー同士で協力して取り組む姿勢や、円滑に進めるための
コミュニケーションの重要性を学ぶことができた。

メンバー

国文学科3年	小山葉奈
教育学科3年	藤岡きこ
現代日本社会学科3年	黒田春葉
現代日本社会学科3年	小林優奈
現代日本社会学科3年	村井恒紀
教育学科2年	山根彩愛
教育学科2年	水谷仁美
教育学科2年	世古口奈々子